

平成27年度 決算状況					人 27年国調 22年国調	人 22,916 25,013	人 -8.4%	区 分	住民基本台帳人口	うち日本人	産 業 構 造	都 道 府 県 名	団 体 名	市 町 村 類 型	- 3
					口 増 減 率	104.38 km ²	27.1.1	23,172 人	22,994 人	区 分	22年国調	17年国調	22	2194	
					面 口 密 積 度	220 人	増 減 率	23,656 人	23,472 人	第 1 次	566	710	静岡県	下田市	地方交付税種地
歳 入 の 状 況 (単位：千円・%)										第 2 次	4.8	5.5			
区 分	決 算 額	構 成 比	経 常 一 般 財 源 等	構 成 比						第 3 次	1,519	1,702			
地方税	2,954,957	25.8	2,781,278	46.1							9,630	10,489			
地方譲与税	67,423	0.6	67,423	1.1							82.2	81.2			
地利子割交付金	4,777	0.0	4,777	0.1											
配当割交付金	13,313	0.1	13,313	0.2											
株式等譲渡所得割交付金	14,056	0.1	14,056	0.2											
地方消費税交付金	518,884	4.5	518,884	8.6											
ゴルフ場利用税交付金	724	0.0	724	0.0											
特別地方消費税交付金	-	-	-	-											
自動車取得税交付金	17,307	0.2	17,307	0.3											
軽油引取税交付金	-	-	-	-											
地方特例交付金	6,258	0.1	6,258	0.1											
地方交付税	2,944,398	25.7	2,563,585	42.5											
内 普通交付税	2,563,585	22.4	2,563,585	42.5											
内 特別交付税	380,813	3.3	-	-											
内 震災復興特別交付税	-	-	-	-											
(一般財源計)	6,542,097	57.1	5,987,605	99.3											
交通安全対策特別交付金	3,077	0.0	3,077	0.1											
分担金・負担金	82,192	0.7	-	-											
使用料	101,050	0.9	22,839	0.4											
手数料	87,870	0.8	-	-											
国庫支出金	1,408,703	12.3	-	-											
国有提供交付金	-	-	-	-											
(特別区財調交付金)	-	-	-	-											
都道府県支出金	517,416	4.5	-	-											
財産収入	17,759	0.2	13,323	0.2											
寄附金	95,550	0.8	-	-											
繰入金	449,451	3.9	-	-											
繰越金	585,108	5.1	-	-											
諸収入	166,440	1.5	-	-											
地方債	1,409,300	12.3	-	-											
うち減収補償債(特例分)	-	-	-	-											
うち臨時財政対策債	450,000	3.9	-	-											
歳入合計	11,466,013	100.0	6,026,844	100.0											

性 質 別 歳 出 の 状 況 (単位：千円・%)					目 的 別 歳 出 の 状 況 (単位：千円・%)					区 分		平成27年度(千円)	平成26年度(千円)		
区 分	決 算 額	構 成 比	充 当 一 般 財 源 等	経 常 経 費 充 当 一 般 財 源 等	経 常 収 支 比 率	区 分	決 算 額	構 成 比	(A)のうち	(A)の	基 準 財 政 収 入 額	2,527,934	2,456,908		
人件費	1,683,753	15.8	1,525,429	1,442,119	22.3	議会費	120,210	1.1	120,210	120,210	基 準 財 政 需 要 額	5,095,813	4,967,470		
うち職員給与	1,139,894	10.7	999,597	-	-	総務費	1,647,670	15.4	8,131	1,473,682	標 準 税 収 入 額	3,211,377	3,163,653		
扶助費	1,912,580	17.9	596,377	547,492	8.5	衛生費	3,472,888	32.5	14,084	1,834,470	標 準 財 政 規 模	6,225,110	6,142,677		
公債	766,302	7.2	765,950	765,950	11.8	衛生費	888,541	8.3	47,300	769,376	財 政 力 指 数	0.49	0.49		
内 元利償還金	679,720	6.4	679,368	679,368	10.5	労働費	322	0.0	-	322	実 質 収 支 比 率 (%)	11.6	8.2		
内 一時借入金	86,582	0.8	86,582	86,582	1.3	農林水産業費	190,936	1.8	34,410	146,095	公 債 費 負 担 比 率 (%)	9.5	11.7		
内 元利償還金	679,720	6.4	679,368	679,368	10.5	農林水産業費	292,691	2.7	16,791	199,805	判 断 全 実 質 収 支 比 率 (%)	-	-		
内 一時借入金	86,582	0.8	86,582	86,582	1.3	商工費	1,056,893	9.9	217,204	894,478	断 全 実 質 公 債 費 比 率 (%)	8.6	10.2		
(義務的経費計)	4,362,635	40.9	2,887,756	2,755,561	42.5	土木費	676,898	6.3	149,775	501,296	断 全 実 質 公 債 費 比 率 (%)	56.8	52.8		
物件費	1,350,359	12.6	1,076,799	798,386	12.3	消防費	1,553,471	14.6	980,801	532,732	積 立 金 財 政 調 査	936,622	772,560		
維持補修費	83,979	0.8	77,748	77,748	1.2	災害復旧費	8,563	0.1	-	8,563	現 在 高 特 定 目 的	700	700		
補助費等	1,165,809	10.9	989,954	613,281	9.5	公債	766,351	7.2	-	765,999	地 方 債 現 在 高	8,502,210	7,772,630		
うち一部事務組合負担金	526,724	4.9	526,670	492,431	7.6	諸支出金	-	-	-	-	物 件 等 購 入 保 証 補 償	2,722	-		
繰出	1,607,271	15.1	1,397,940	1,096,778	16.9	前年度繰上充用金	-	-	-	-	債 務 負 担 行 為 額 (支出予定額)	756,136	195,971		
積立金	603,516	5.7	529,500	-	-	歳出合計	10,675,434	100.0	1,468,496	7,247,028	取 益 事 業 収 入	454,217	451,007		
投資・出資金・貸付金	24,806	0.2	24,806	-	-	一般会計	1,760,364	16.5	292,502	238,366	土 地 開 発 基 金 現 在 高	-	-		
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-	下水道	543,000	5.1	4,943	4,943	合 計	97.4	89.8		
投資の経費	1,477,059	13.8	262,525	262,525	2.3	病院内	150,489	1.4	7,973	7,973	市 町 村 民 税	97.6	89.2		
うち人件費	19,456	0.2	19,456	19,456	0.2	工業用水道	297,116	2.8	99	99	純 固 定 資 産 税	96.7	88.6		
内 うち補助	410,600	3.8	11,102	11,102	0.1	その他	767,155	7.2	285	285		97.4	87.2		
内 うち単独	1,022,886	9.6	224,525	224,525	2.0							96.7	88.6		
内 災害復旧事業費	8,563	0.1	8,563	8,563	0.1								95.7	84.1	
内 失業対策事業費	-	-	-	-	-										
歳出合計	10,675,434	100.0	7,247,028	6,037,607	82.5%										

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には委託事業費のうち補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び委託事業費のうち単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
4. 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
5. 面積については、調査年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(千円)」及び「一人当たり平均給料月額(千円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)